



問 本庁 港湾商工課 港湾振興係 Tel: 474-1111 (286)



日本でも有数の国際物流取扱量を誇る、海の玄関口「志布志港」。今回は、その港を守る鹿児島税関支署志布志出張所からのお知らせです。

「薬物及び銃器取締強化期間」における、水際取締り強化のお知らせ

税関では、従来から覚醒剤、大麻などの不正薬物及び拳銃などのいわゆる社会悪物品の密輸防止のため、警察、海上保安庁等と連携して水際取締りを実施しています。
このたびは長崎税関では、平成25年10月1日（火）から10月31日（木）までを「薬物及び銃器取締強化期間」として、社会悪物品に対する水際取締りを更に強化するとともに、税関の役割について広く市民の皆様へお知らせし、ご理解と密輸情報提供等のご協力をお願いしています。



密輸情報の提供をお願いします

海港や旅行先などで、不審な貨物や人物を見かけた、不審な会話を耳にしたなどの情報があれば、税関までお知らせください。

密輸フリーダイヤル

0120-461-961

（24時間受け付けています）

問い合わせ先

長崎税関 鹿児島税関支署 志布志出張所
Tel: 472-1689

三条市の豪雨

私の自宅がある町（400世帯）は2004年7月13日の豪雨で、床上浸水しました。私の自宅も120センチの水位に達し、水に浸かった我が家を前に「自然に対抗はできない。正しく理解し、つきあっていくしかない」という思いを新たにしました。



当時、私は自治会で副会長の職にあり、2003年頃から老人会の立ち上げの準備をしていました。このときの資料はすべて流されてしまい、立ち上げは2005年春に延びたのですが、これ以降は毎年、会員の避難訓練を重ねています。自治体から全世帯に配布された『三条市豪雨災害対応ガイドブック』も大いに役立っています。楽しさを重視した交流会のような訓練が功を奏し、2011年7月29日の豪雨による水害では、会員は皆スムーズに避難できたうえ、避難所では互いにいたわり合い、ワイワイ明るい雰囲気でも過ごすことができました。訓練に意味はないという声もありましたが、「絶対安全はない」と訴え、継続してよかつたと思っています。

2012年はこの老人会の活動の一環で高齢者の支え合いマップを作成し、また一つ、安心の材料が増えました。これからは避難訓練で築いた、顔の見える関係を大切に、会員以外の高齢者も巻き込みながら、具体的な避難準備を充実させていきたいと思います。

老人会を立ち上げ、
訓練重ねた成果を実感

三条市 70代 男性 自治会長

インフルエンザ（3価ワクチン）
予防接種の接種費用助成について

- ◆接種期間…10月初旬から平成26年2月28日まで
- ◆助成対象者…志布志市に住所を有するすべての市民
- ◆接種場所…市内医療機関及び志布志市と契約してある市外の医療機関

◆接種回数及び接種方法：

対象者	接種回数	2回目接種の間隔
生後6カ月以上3歳未満	2回	およそ2～4週
3歳以上13歳未満	2回	およそ1～4週
13歳以上	1回	—

※他の予防接種を受けている場合の接種間隔

インフルエンザワクチン接種前に受けた予防接種の有無、種類を確認し、最近受けた予防接種が生ワクチンであった場合には4週間以上、不活化ワクチン

又はトキソイドの場合には1週間以上の間隔をあける。

◆接種費用：

対象者	市負担額	自己負担額
生後6カ月以上65歳未満	1,500円	接種料の差額
65歳以上及び厚生労働省令に定める者	2,000円	接種料の差額

※市内の契約医療機関で接種する場合、65歳以上の方は自己負担が500円、それ以外の方は1,000円になります。

◆接種を受ける際に必要なもの…住所と年齢を確認できるもの（保険証、医療受給者証等）、健康手帳、母子手帳（持っている方のみ）

※ご本人が接種を希望する場合には、予防接種を行います。（接種の義務はありません）。

問い合わせ先
保健課 保健対策係
Tel: 474-1111 (164)

市長コラム 本誌 守るべき言葉と感覚

日本の「オ・モ・テ・ナ・シ」のアピールで、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、日本国中がこの朗報に沸き上がりました。48年前の東京五輪と同じように、成功への明確な目標に向けて国家をあげた準備が進むことでしょう。その経済効果は一説には100兆円を超えるのではとも予測され、デフレ不況下の日本にとって、不景気を脱する大きな牽引力になるものと思います。私どもの志布志の地にもその効果が及ぶことを、大きく期待するところです。

さて、その東京へ上京した時のことです。公共の場で眉をひそめるような光景を目にしました。地下鉄に乗り込むやいなや、人目もはばかりに化粧を始めた若い女性。乗ったときとは違う顔で、颯爽と降りていく姿は周りの目を全く気にしていませんでした。はたしてそれは日本人の「あるべき姿」なのでしょう。先日、文化庁が発表した「国語に関する世論調査」で「ざつくりとした説明」「キンキンに冷えたビール」など幾つかの新しい表現が定着したという新聞記事を目にしました。最近、特にIT関連機器のめざましい普及に伴い、それに関する用語な

どを覚えることに一苦労しています。そのような時に、最近あまり耳になくなった「はしたない」という言葉を、幼少時代の思い出と共に思い出しました。

子どもの頃に「はしたないまねをするな」とよく言われていましたが、「はしたないまね」というのは直接的には不作法で憤みがない振舞いということですが、その言葉の意味は「自分の行動に対して責任を持ち、社会規範や道理を重んじなさい」ということだと考えます。「お天道様が」、「世間様が」という感覚があったからこそ「はしたない」という言葉が生きていたのではないのでしょうか。それは私どもが子どもの時代には、皆がわきまえていた感情であり、行動であったように思います。その他にも、本市の「志」という文字を象徴する「武士道」の精神が重んじられ、信義、廉恥、礼儀、潔白、質素、儉約、尚武、名誉、情愛などの言葉が失われつつあるのではと、地下鉄での光景を思い返して危惧したところです。

さて、全国茶サミット鹿児島大会が10月30日と31日に本市で開催されます。その大会の成功に向けた応援コールをご紹介します。
『東京オリンピックを成功させよう！日本の元気を結集しよう！ニッポンチャチャチャ・ニッポンチャチャチャ・ニッポンチャチャチャ・日本茶！』

もし、一日前に戻れたら…。私たち（被災者）からみなさんに伝えたいこと

この話は、あらゆる被災から一定期間を経過した被災者・災害体験者の方々に「もし、災害の1日前にもどることができたら、あなたは何をしますか」をテーマに話をお聞かせいただいたものです。もし、「自分だったら」「我が家だったら」「我が社だったら」というように、自分の身の上に置きかえて読み進めてください。一つひとつの小さな話から教訓などを感じてもらい、減災の大切さを知るきっかけとなれば幸いです。